RG79A479K03

MITSUBISHI 三菱電機パッケージエアコン別売電気集じん器PAC-SG62AC/PAC-SH14AC 取付および

安全のために必ず守ること

●据付工事は、この「安全のために必ず守ること」をよくお読みのうえ、確実に行なってください。
●ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
●誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

⚠警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの。
⚠注意	誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの。

●据付工事完了後、試運転を行ない異常がないことを確認するとともに、本説明書にそって、お客様に「安全のために必ず守ること」や使用方法、お手入れの仕方等を説明してください。
また、この取付および取扱説明書はお客様で保管していただくように依頼してください。また、お使いになる方が代わる場合は、新しくお使いになる方にお渡しいただくように依頼してください。

⚠警告

据付けは、販売店または専門業者に依頼する。
●お客様自身で据付工事をされ不備があると、水漏れや感電、火災等の原因になります。

据付工事は、この据付工事説明書に従って確実に行なう。
●据付けに不備があると、水漏れや感電、火災等の原因になります。

台風などの強風、地震に備え所定の据付工事を行なう。
●据付工事に不備があると、転倒などによる事故の原因となります。

据付けは、重量に充分に耐えるところに確実に行なう。
●強度が不足している場合は、ユニットの落下などにより、事故の原因になります。

電気工事は電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」及びこの据付工事説明書に従って施工し、必ず専用回路としかつ定格の電圧・ブレーカを使用する。
●電気回路容量不足や施工不備があると感電、火災の原因になります。

配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように固定する。
●接続や固定が不完全な場合は、発熱・火災等の原因になります。

室内外ユニットの端子盤カバー（パネル）を確実に取付ける。
●端子盤カバー（パネル）取付けに不備があると、ほこり・水等により、火災・感電の原因になります。

改造は絶対にしない。
●修理は、お買い上げの販売店にご相談ください。
改造したり修理に不備があると水漏れや感電、火災等の原因になります。

お客様自身で移動・再据付けはしない。
●据付けに不備があると水漏れや感電、火災等の原因になります。
お買い上げの販売店または専門業者にご依頼ください。

集じんエレメントおよびエアフィルターを清掃するときは必ず元電源を切ること。
●高電圧部に触れた場合、感電の原因になります。

据付けをする前に（環境）

⚠注意

特殊環境には使用しない。
●油（機械油を含む）、蒸気、硫化ガスなどの多い場所、海浜地区など塩分の多い場所、積雪により室外ユニットが塞がれるところに使用しますと性能を著しく低下させたり、部品が破損したりする場合があります。

可燃性ガスの発生・流入・滞留・漏れの恐れがある場所へは据付けない。
●万一ガスがユニットの周囲にたまると、発火・爆発の原因になることがあります。

厨房など油煙の多い環境には据付けない。
●電気集じん器の性能が著しく低下したり、部品が破損する原因になります。

精密機器・食品・動植物・美術品の保存等特殊用途には使用しない。
●保存物の品質低下等の原因になることがあります。

濡れて困るものの上にユニットを据付けない。
●湿度が80%を越える場合やドレン出口が詰まっている場合は、室内ユニットからも露が落ちる場合もあります。また、暖房時には室外ユニットよりドレンが垂れますので、必要に応じ室外ユニットも集中排水工事をしてください。

病院、通信事業所などに据付けられる場合は、ノイズに対する備えを充分に行なう。
●インバータ機器、自家発電機、高周波医療機器、無線通信機器の影響によるエアコンの誤動作や故障の原因になったり、エアコン側から医療機器あるいは通信機器へ影響を与え人体の医療行為を妨げたり、映像放送の乱れや雑音など弊害の原因になることがあります。

取扱説明書

据付け（移設）工事をする前に

⚠注意

製品の運搬は充分注意して行なう。

●20kg以上の製品は原則として2人以上で行なってください。
PPバンドなど所定の位置以外をもって製品を動かさないでください。素手でフィンなどに触れるとケガをする場合がありますので保護具をご使用ください。

梱包材の処理は確実に行なう。

●梱包材には「クギ」等の金属あるいは、木片等を使用していますので放置状態にしますとさし傷などのケガをする恐れがあります。

据付台等が傷んだ状態で放置しない。

●傷んだ状態で放置するとユニットの落下につながり、ケガ等の原因になることがあります。

エアコンを水洗いしない。

●感電の原因になることがあります。

電気工事をする前に

⚠注意

設置場所（水気のある場所等）によっては漏電遮断器を取付ける。

●漏電遮断器が取付けられていないと感電の原因になることがあります。

電源配線は、電流容量に合った規格品の電線を使用すること。

●漏電や発熱・火災の原因になることがあります。

電源配線は張力が掛からないように配線工事をする。

●断線したり、発熱・火災の原因になることがあります。

アース工事を行なう。

●アース線は、ガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。アースが不完全な場合は、感電の原因になることがあります。

正しい容量のヒューズを使用する。

●大きな容量のヒューズや針金・銅線を使用すると故障や火災の原因となることがあります。

試運転をする前に

⚠注意

運転を開始する12時間以上前に電源を入れる。

●電源を入れてすぐ運転開始すると、故障の原因になることがあります。
シーズン中は電源を切らないでください。

パネルやガードを外した状態で運転をしない。

●機器の回転物、高温部、高電圧部に触れると、巻き込まれたり、やけどや感電によるケガの原因になります。

エアフィルタを外したまま運転をしない。

●内部にゴミが詰まり、故障の原因になることがあります。

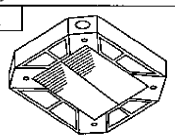
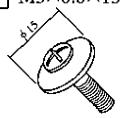
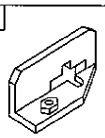
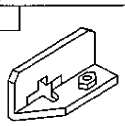
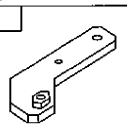
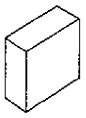
濡れた手でスイッチを操作しない。

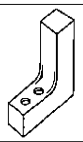
●感電の原因になることがあります。

運転停止後、すぐに電源を切らない。

●必ず5分以上待ってください。
水濡れや故障の原因になることがあります。

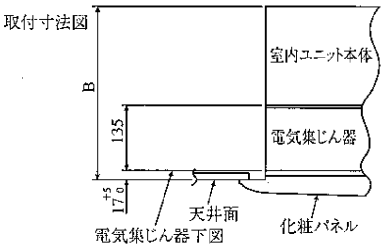
1. 部品の確認 （この箱の中には本説明書と下記部品が入っています。）

品番 品名	①電気集じん器	②座付ネジ(黒色)	③座付ネジ(金色)	④固定用金具	⑤固定用金具	⑥固定用金具	⑦吹出口ブロック
個数	1	5 M5×0.8×15	2 M5×0.8段付ネジ	2	1	1	8
形状							

品番 品名	⑧スイッチレバー	⑨スイッチレバー取付ネジ	⑩運転表示パネル	⑪ワイヤレスリモコン用中継リード線
個数	1	2 M4×10 タッピングネジ	1	1
形状				

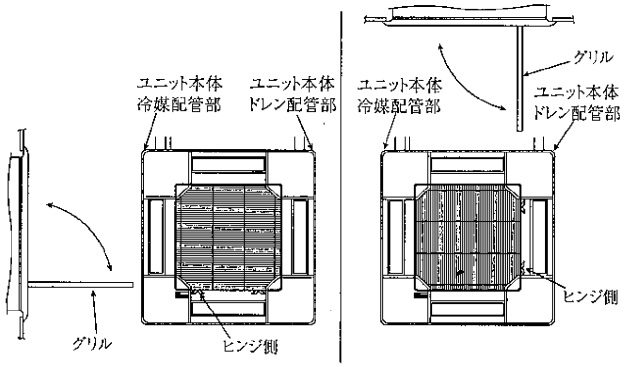
2. 室内ユニット本体の取付

●電気集じん器を取付ける前に室内ユニット本体の現地配線（電源、リモコン線、M－NET等）を施工してください。
電気集じん器を取付けた後では作業ができません。
●化粧パネルはMPLP-P160AWHを使用してください。
●室内ユニット本体の据付工事説明書を参照し、取付けてください。取付に際し、以下の点にご注意ください。
(1)据付に必要な寸法は下図のようになります。　(2)グリルの開閉の方向が決まっています。
（4ページ参照）



室内ユニット形名	B
40～80形	393
112～160形	433

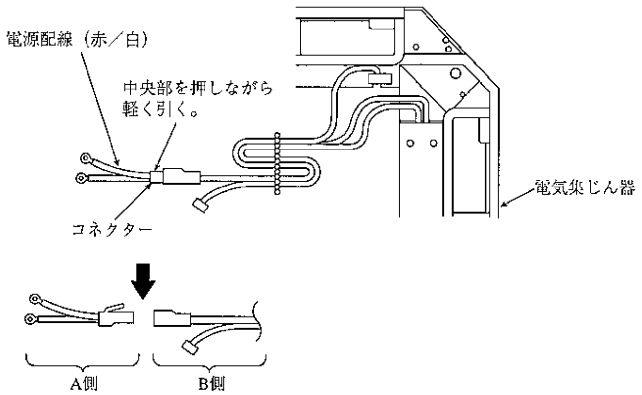
※但し、ユニット天面と天井スラブ等の間は、10～15mmあけてください。



(3)電気集じん器を取付ける前に室内ユニットの現地配線（電源、リモコン、M-NET等）を施工して下さい。電気集じん器を取付けた後では作業ができません。

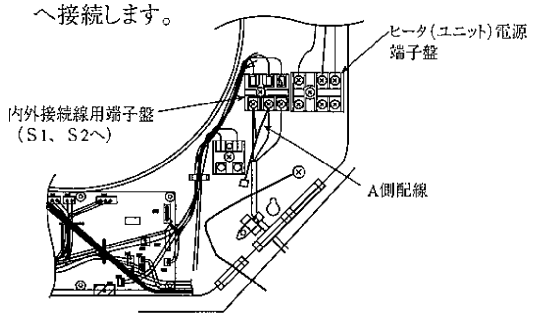
現地配線は室内ユニット本体の据付説明書を参照の上、施工してください。また、電気集じん器を取付ける前に電気集じん器の電源配線のみ、下記の手順にて取付けてください。

●電気集じん器の電源配線をコネクター部より取り外します。

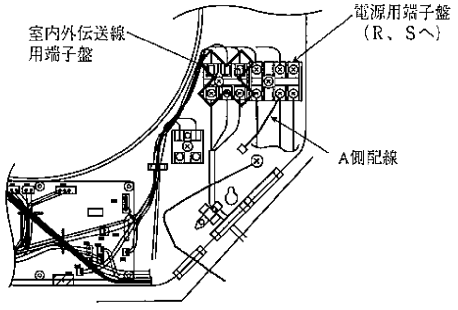


●取外したA側の配線を室内ユニット本体の端子盤に取付けてください。現地電源配線と共締めとなります。

1）A制御機種（AA形）の場合
内外接続線用端子盤（S1･S2）へ接続します。
※電源が室内ユニット･室外ユニットで別受電等の場合は、ヒータ（ユニット）電源端子盤（R･S）へ接続します。



2）フリープラン機種（AM形）の場合
電源用端子盤（R･S）へ接続します。
※室内外伝送線用端子盤への接続は不可。

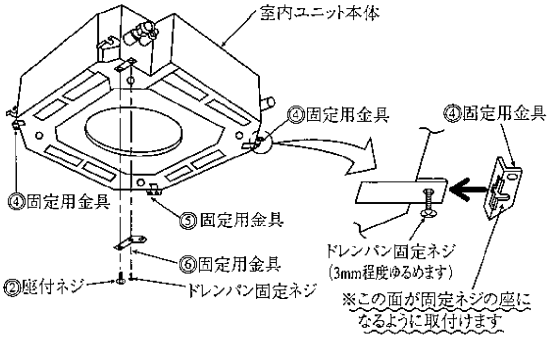


3. 電気集じん器の取付

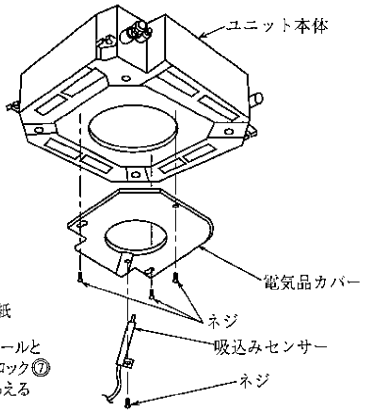
取付前の準備（室内ユニット本体側）

●吹き出し口数を変更する場合の別売吹出口シャッタープレートは、室内ユニット本体に取付けますので、電気集じん器①を室内ユニット本体へ取付ける前に作業します。
※2方向吹出しはできません。

●室内ユニット本体のドレンパン固定ネジ3本をゆるめ、付属の固定用金具④⑤を右図の位置に共締めします。また、冷媒配管部のドレンパン固定ネジを1本を外し、付属の固定用金具⑥をドレンパン固定ネジと付属の座付ネジ② 1本にて固定します。



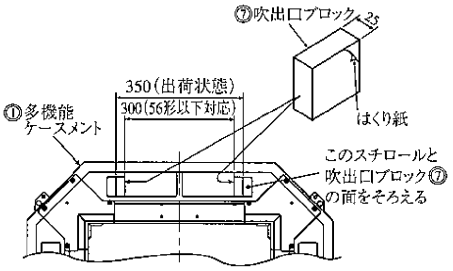
●ユニット本体の吸込みセンサーを外し（ネジ１本）電気品カバーを取外します。
（ネジ3本､仮掛け可能）



取付前の準備（電気集じん器）

※外気取入れはできません。

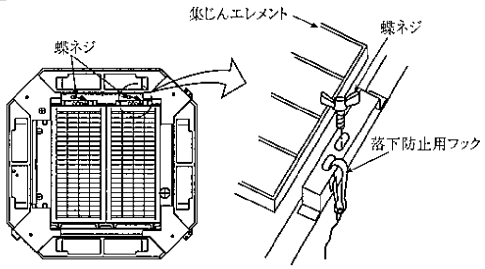
●室内ユニット本体の形名が56形以下の場合は、右図のように電気集じん器①の吹出口へ付属の吹出口ブロック⑦を貼付けます。
必ず左右均等に貼付けてください。



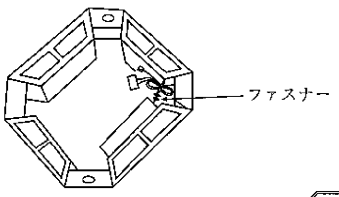
室内ユニット本体形名	吹出口毎の吹出口ブロック⑦貼付数
36～56形	2ヶ（計8ヶ）

⚠注意
吹出口ブロックは確実に貼付ける。
●貼付けに不備があると風が到達しない・露たれ・露付等の発生またはユニットが正常に運転しない原因になります。

●集じんエレメントを取外します。集じんエレメントを取付けている蝶ネジを取外し、集じんエレメントを持ち上げます。落下防止用フックを取外し、集じんエレメントの反対側の引掛け部を外して、取出してください。

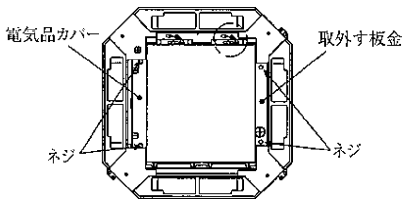


●電気集じん器の配線を束ねているファスナーを取外します。



●電気集じん器の電気品カバーを取外します。
（ネジ２本）

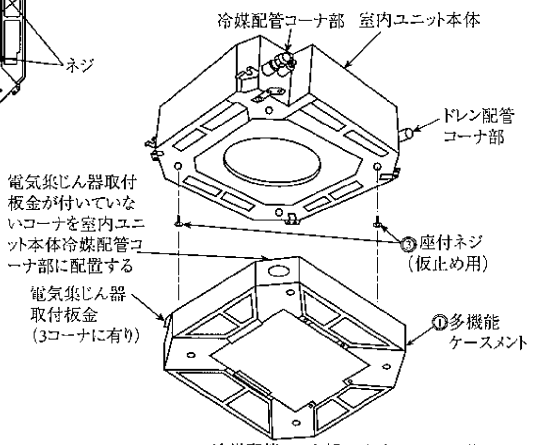
●電気集じん器の電気品ボックスと反対側にある板金を取外します。（ネジ２本）
（室内ユニット本体の電気品カバーの取付けのために必要な作業です。）



仮止め

●室内ユニット本体の右図の位置（ドレン配管コーナ部とその対角）に付属の座付ネジ③を2本固定します。

●電気集じん器①のダルマ穴部を座付ネジ③に引掛け、仮止めします。



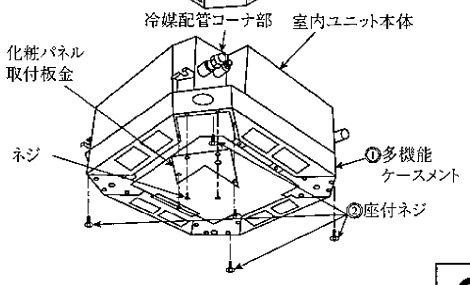
固　定

●冷媒配管コーナの電気集じん器①の化粧パネル取付用板金を外します。
（ネジ4本）

●電気集じん器①の取付部4ヶ所に付属の座付ネジ②を仮締めし、電気集じん器①の位置が合ったのを確認した後、座付ネジ②を固定します。

⚠注意
4ヶ所の座付ネジの仮締めをする。
●仮締めせずに固定しますと、座付ネジが破損したり、風もれの原因になります。

●さきほど外した化粧パネル取付用板金を取付けします。（ネジ4本）



3. 電気集じん器の取付 のつづき

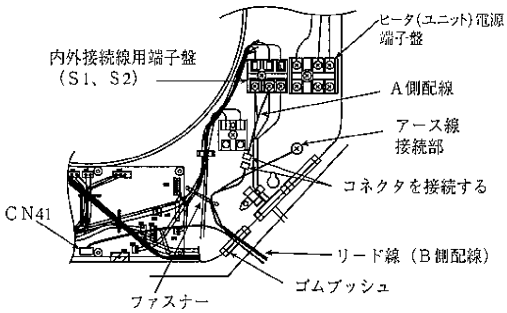
室内ユニット本体への配線接続

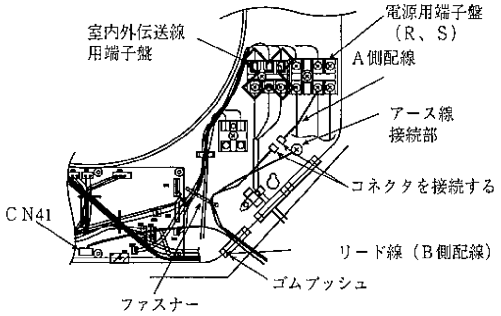
●室内ユニット本体のゴムブッシュ部から電気集じん器のB側配線（赤、白）、アース線、コネクタ（CN41）付リード線を引き込み、下図のようにA側配線への接続、アース線接続、室内制御基板のCN41コネクタへ接続します。

●電気集じん器の配線を束ねていたファスナーを使って、リード線をまとめます。

1）A制御機種（AA形）の場合
内外接続線用端子盤（S1・S2）へ接続します。
※電源が室内ユニット・室外ユニットで別受電等の場合は、ヒータ（ユニット）電源端子盤（R・S）へ接続します。

2）フリープラン機種（AM形）の場合
電源用端子盤（R・S）へ接続します。
※室内外伝送線用端子盤への接続は不可。





※コネクタ接続後、軽く引張って抜けのないことを確認してください。

電気集じん器取付時の風量アップの設定

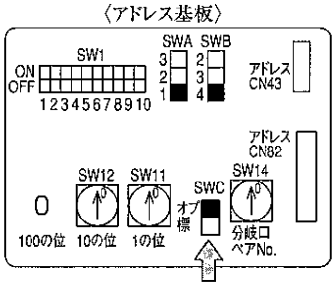
※電気集じん器を取付けた場合は、風量アップの設定を行う必要があります。

⚠注意	風量アップの設定をする。
	●設定に不備があると風量が低下し、能力の低下及び露たれ等が発生する原因になります。

1） A制御機種（AA形）の場合
●リモコンからの設定となりますので、据付終了後、リモコンに付属してあります据付工事説明書の 機能選択 の頁を参照の上、設定してください。（オプション“有り”としてください。）

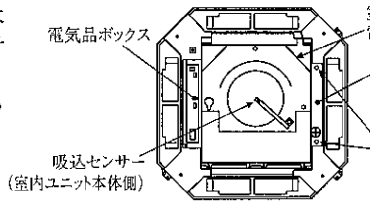
2） フリープラン機種（AM形）の場合
●室内ユニット本体のアドレス基板のスイッチ“SWC”を オプション 側に設定します。（工場出荷時は 標準 ）

〈アドレス基板〉



●上記の配線および設定終了後、室内ユニット本体の電気品カバーと吸込センサーを元通り取付けます。

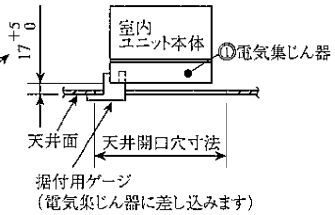
●電気集じん器の電気品ボックスと反対側にある板金を元通り取付けます。
※電気集じん器の電気品カバーはパネル取付後、運転表示パネル⑩を取付けてから、取付けます。



据付高さの調整

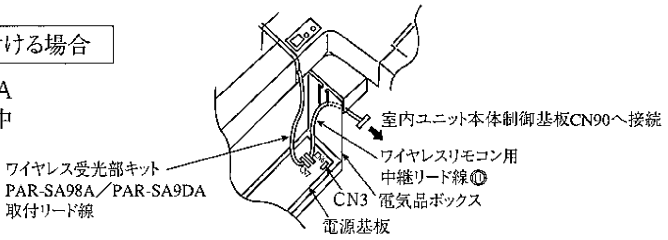
●右図のように化粧パネル付属の据付用ゲージにて、天井面と電気集じん器①の高さ位置を再調整します。

必ず17～22の範囲内とすること。
この範囲が守られない場合、
故障等の原因になります。



ワイヤレス受光部キットPAR−SA98A／PAR−SA9DAを取付ける場合

●ワイヤレス受光部キットPAR−SA98A／PAR−SA9DAに付いているリード線を電気集じん器の電源基板上で中継します。（CN6、CN7に接続）



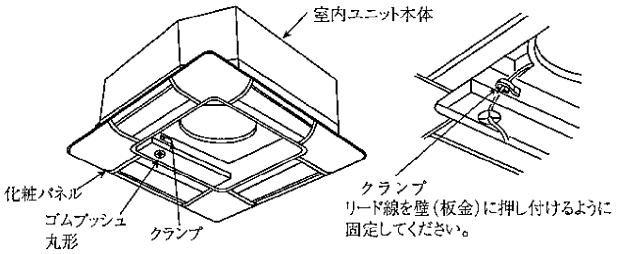
電気集じん器取付時のHA端子について

●電気集じん器取付時は室内ユニット本体のHA端子（CN41）は使用できません。HA端子を使用する場合は電気集じん器の電源基板上のCN3コネクタを使用し、CN3の隣りにジャンパー線（JHA）がある場合は、JHAをニッパー等で切断してください。

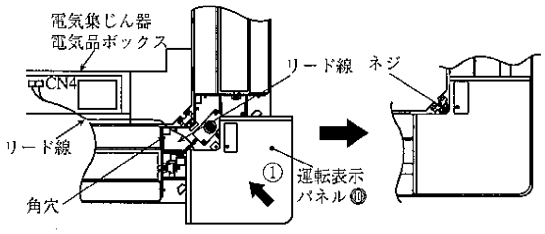
化粧パネルをしばらくの間取付けられない場合、またはユニットを据付けた後に天井材を張られる場合は、室内ユニット本体の据付用型紙（梱包材天面キャップ）を使用してユニット内へほこりを入れないための保護シートとしてください。

4. 化粧パネルの取付

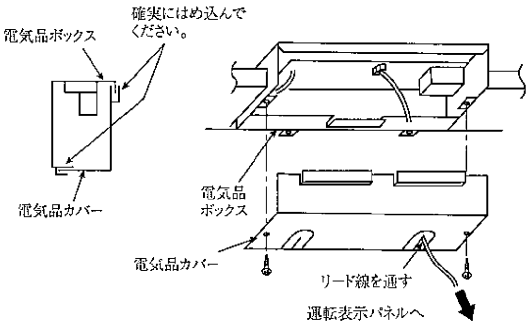
●化粧パネル付属の取付説明書を参照し、取付けます。化粧パネルの配線は電気集じん器のブッシュを通して接続してから、集じんエレメント側へ出ないよう、クランプで固定してください。



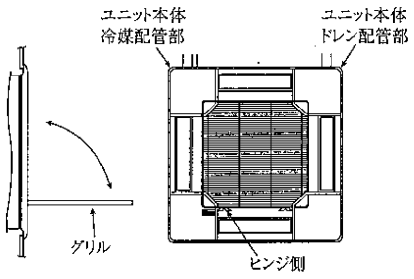
●化粧パネルの室内ユニット本体のドレン配管側と対角にあるコーナパネルを付属の運転表示パネル⑩と交換します。運転表示パネルのリード線を化粧パネルのコーナ部の角穴から引き出し、コネクタを電気集じん器電源基板のＣＮ4に接続します。運転表示パネル⑩を右図のように矢印①の方向にスライドし、コーナ部のネジを固定します。（ネジは化粧パネルのコーナパネル固定ネジを流用します。）



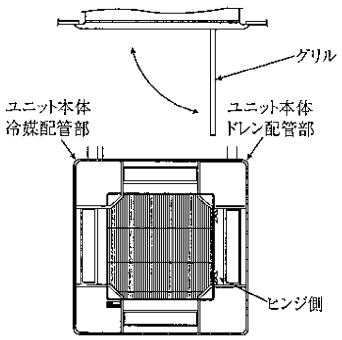
●電気集じん器の電気品カバーを元通り取付けます。取付の際、リード線を板金でかみ込まないよう注意してください。



●グリルにスイッチレバー⑧をスイッチレバー取付ネジ⑨2本で下図のように取付けます。
グリルの開閉向きで取付位置が異なりますので、ご注意ください。

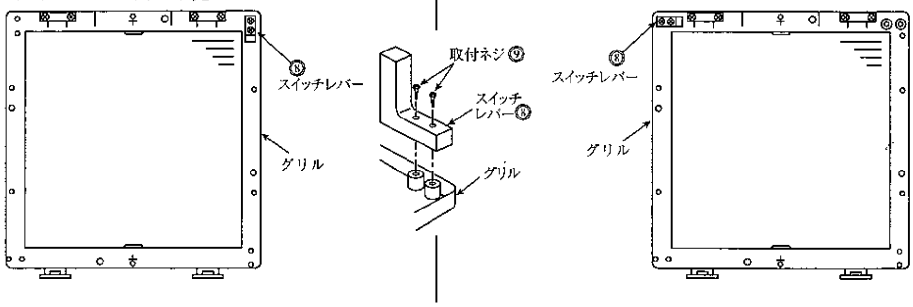


上図のように取付ける場合、
下図の位置にスイッチレバー⑧を取り付けます。



上図のように取付ける場合、
下図の位置にスイッチレバー⑧を取り付けます。

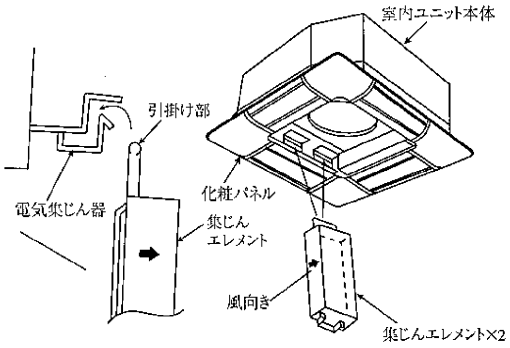
●スイッチレバーの取付方法
グリルをウラ面より見る



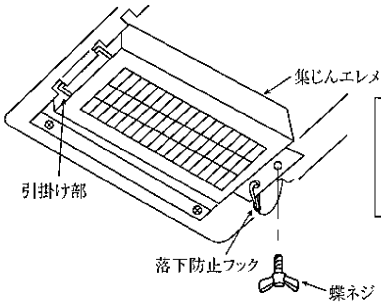
※取付位置を間違えないよう注意してください。間違えると電気集じん器の運転ができません。
※スイッチレバーは確実に固定してください。ガタつきがあると部品の破損など故障の原因になります。

5. 集じんエレメントの取付

●集じんエレメントを取付けます。
●集じんエレメントの引掛け部を右図のように電気集じん器に引掛けます。
風向きの矢印が奥へ向くように取付けてください。



●集じんエレメントの引掛け部と反対側を押し上げて、落下防止用フックを取付けて、さらに蝶ネジを最後まで締め込み固定してください。



落下防止用フックは集じんエレメントの落下を防ぐものですので必ず取付けてください。

6. 運転の確認

据付工事が完了しましたら、運転の確認を行ってください。
空調機のリモコンをオンにすると、数十秒後にコーナパネルに表示された運転ランプが点灯します。
（空調機が運転しているにもかかわらず、運転ランプが点灯しない場合は配線、集じんエレメント、吸込グリル、スイッチレバー等が正しく取付けられているか確認してください。）

7. メンテナンス

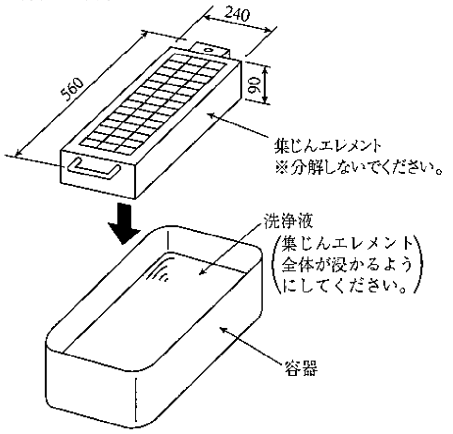
集じんエレメントを定期的に洗浄してください。洗浄は下記の要領に沿って行ってください。
メンテナンス期間の目安　一般事務所：約2,500時間　パチンコ店：約300時間（約1ヶ月）

(1)準備するもの
●集じんエレメントを入れる容器
●市販の家庭用アルカリ洗剤

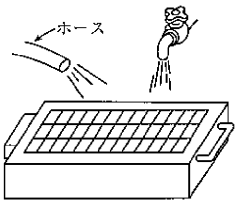
(2)洗浄液を作ります。
家庭用アルカリ洗剤に記載されている要領で洗浄液を作ります。

(3)集じんエレメントを取外します。
（5．集じんエレメントの取付 と逆の要領です。）

(4)集じんエレメントを洗浄液の入った容器の中に入れ、2時間ほど浸け置きしてください。



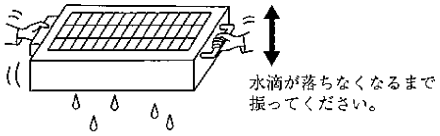
(5)集じんエレメントを取り出し、水洗いして、洗浄液を充分に落としてください。
●裏、表両面にきれいな水を全体にかけてください。



⚠注意	●水洗いは充分行ってください。 洗浄液が残っていると、絶縁が低下し、正常に運転しない場合があります。

三菱電機

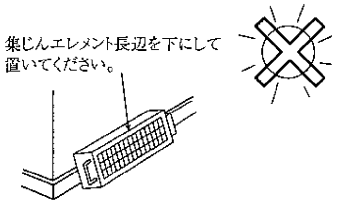
7. メンテナンス のつづき



(6)集じんエレメントを乾かします。

①集じんエレメントの両端を持ち、水滴が落ちなくなるまで、よく振ってください。

②直射日光の当たるところや、高温高湿のところをさけて、2時間ほど放置します。



③もう一度、水滴が落ちなくなるまで、振ってください。

④ケースの表面に水滴が残っていないことを確認します。

(7)集じんエレメントを取付けます。

（5．**集じんエレメントの取付** にしたがって取付けてください。）

⚠警告	●集じんエレメントを取外す際は必ず電源が切れていることを確認してください。
⚠注意	●強アルカリ性の洗剤は使用しないでください。
⚠注意	●ドライヤーなどで温風を当てないでください。 ●ホースの先端を押さえるなどして、勢いのある水を直接当てないでください。 部品の変形など破損の原因になります。

8. 運転について

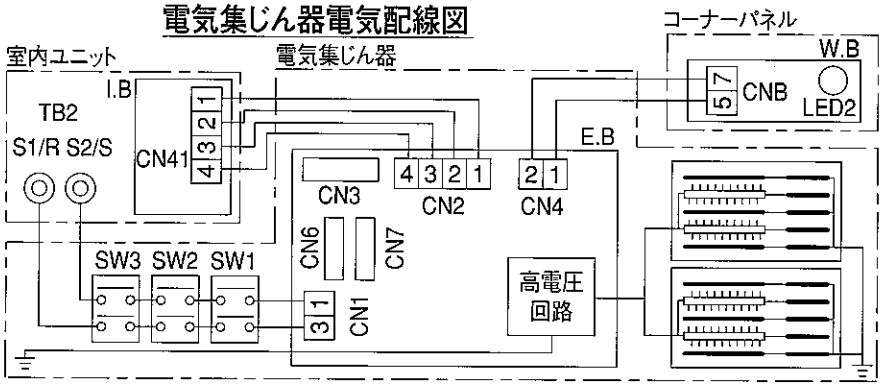
●電気集じん器は空調機のリモコン運転スイッチがオンの間、運転します。
●運転中は化粧パネルコーナ部のランプ（ミドリ）が点灯します。
●空調機が運転しているにもかかわらず、ランプが消えている場合は以下のことが考えられます。

状　況	考えられる要因	処　置
長時間（1ヶ月以上）運転した。	集じんエレメントが非常に汚れている。	集じんエレメントを洗浄してください。
洗浄後数時間運転し、消えた。	水分が集じんエレメントに残っている。	集じんエレメントを取外し、乾かしてください。
	洗浄液が付着している。	もう一度水洗いしてください。

●再運転する場合は空調機の電源を入れ直してください。（室内ユニット本体のグリルの開閉でも同じです。）

機株式会社

電気集じん器電気配線図



	記号	名　称		記号	名　称
室内ユニット	TB2	端子盤〈電源〉	電気集じん器	CN6	コネクタ(ワイヤレスリモコン中継1)
	I.B	室内制御基板		CN7	コネクタ(ワイヤレスリモコン中継2)
	CN41	コネクタ(HA端子)		SW1	スイッチ(グリル開閉)
電気集じん器	E.B	電気集じん器電源基板		SW2	スイッチ(エレメント開閉1)
	CN1	コネクタ(電源)		SW3	スイッチ(エレメント開閉2)
	CN2	コネクタ(運転信号)	コーナーパネル	W.B	運転表示基板
	CN3	コネクタ(HA端子)		CNB	コネクタ
	CN4	コネクタ(運転表示)		LED2	発光ダイオード(ミドリ)

注1.図中◎は端子盤、□□はコネクタを示します。

RG79B902L02